

令和6年度 事業所自己評価結果の公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表：令和7年3月28日 / アンケート期間：令和7年2月17日～令和7年2月28日 / 回答者数（児童数）17名

チェック項目			はい	どちらとも いえない	いいえ
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	2	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	3	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	2	

チェック項目			はい	どちらとも いえない	いいえ
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	6	8

チェック項目			はい	どちらとも いえない	いいえ
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	2	4
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	17		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	4	1
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	17		
	22	個人情報の取り扱いに十分注意されていると思いますか。	16	1	

チェック項目			はい	どちらとも いえない	いいえ
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17		

チェック項目			はい	どちらとも いえない	いいえ
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	17		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	17		
	29	事業所の支援に満足していますか。	17		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

令和6年度 事業所自己評価結果の公表

事業所における自己評価結果および改善内容・改善目標

公表: 令和7年3月28日 / 回答者数(職員数) 9名

チェック項目			はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	職員の配置人数は適切である。	8	1	・スケジュールに合わせて、机、椅子、運動用具等備品の移動をしている ・掃除、消毒、室内適温設定をしている ・視覚刺激を減らし、カードの使用、色、大きさ、声掛け等の注目の促し方を工夫している ・適切な距離感を保てるように配慮している ・運動と遊びスペースに分ける ・個人のスペースを作るのにパーテーションを使用して場所を確保している ・個々に状態を確認しながら無理強いせず、都度必要な対応を行っている ・保育時間が伸びて清掃の時間の確保が難しいが、スタッフ同士声を掛け合って綺麗な環境を保持できるよう努めている ・玩具、机、椅子のネジの緩みなど環境的配慮、教材などスタッフにとってわかりやすい環境整理	・安全のための整理整頓 ・距離を保てる空間の確保 ・修理、修繕 ・環境整備をする時間の確保が難しい ・パーテーションを増やす。 ・職員の人数 ・午睡をしない利用児で静かに過ごすのが難しい場合のスペースの確保の問題 ・利用時間が伸びたことで、お迎えの時間によって職員が足りなく感じることがある。 ・棚の上に荷物があることがある。棚の上に物を置かない。
	2	日々の活動や支援のためのスペースは利用定員に対して十分に確保されている。	7	2		
	3	保育・生活空間は、本人にわかりやすく構造化しているなど子どもたちの特性に合わせた環境になっている。	9			
	4	保育・生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっている。また、子どもたちの活動に合わせた空間になっている。	8	1		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画できている。	9		・日報、活動予定の共有、ミーティング、個別相談での情報共有 ・改善点を共有し改善できるよう努めている。 ・仕事の効率上がるよう、記録の工夫、できることはスタッフみんなで協力して分担する ・職員会議でテーマに沿った研修を行う ・職員会議で利用児の留意点など共有を図っている	・本部、全体の業務マニュアル等の通知共有が不足 ・療育内容、対応についての研修も行いたい
	6	職員の資質の向上を行うために、研修を行なっている。	8	1		
	7	保護者向け自己評価表により保護者の意向等を、また事業所自己評価表により職員の意見等を把握する機会を設けており、それらの内容を業務改善に繋げている。	9			

チェック項目			はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	8	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	9			
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画が作成されている。	9			
	10	個別支援計画には児童発達支援ガイドラインの「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の観点から、支援に必要な項目が適切に設定され、その上で具体的な支援内容が設定されている。	9			
	11	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われている。	9			
	12	活動プログラムの立案をチームで行っている。	9		・各児に合わせた活動や支援の提供ができ、かつ、都度レベルアップ、修正が行われている ・保護者と連携し、各児の健康状態や変化を考慮した対応をしている ・保護者の方の思いを取り入れつつお子さんに無理ないようできる支援が行われている ・日報と朝の会議時に共有できている。 ・不明点は都度聞くことができている ・アセスメント、モニタリング、支援計画を期限内に作成している。	・利用時間の延長により、職員の勤務時間によっては以前のように1日の振り返りが難しくなってしまった ・個別課題の時間を作ることが難しい日がある
	13	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	9			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ活動プログラムや個別支援計画に反映している。	9			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	7	2		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	9			
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	9			
	18	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、見直しを行なっている。	9			

関係機関や保護者との連携	19	地域の母子保健や子ども・子育て支援等の関係機関(区役所等)と連携した支援を行っている。	6	3	・保護者との対話、関係機関との連絡を適切にとっている ・送迎時やHUGを使って、丁寧な保護者対応をされているように感じる。 ・小学校との引き継ぎを行っている。	・非常勤職員は保護者とお話する機会がほとんどない。保護者様とお子さんが一致しない。 ・地域や保育園、幼稚園と共有する機会が少ない。
	20	保育所や幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との併行利用や移行に向けた支援を行っている。また、その際、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	9			
	21	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	9			
	22	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所等と連携し、支援に活かしている。	6	3		
	23	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、健康面や発達の状況、課題について共通理解を持っている。	9			

チェック項目			はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明等	24	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	9		・送迎時の対応やHUG上で丁寧に対応している ・必要に応じて面談や送迎時に相談を受け、それについて職員皆で考えることもある ・定期的に支援計画の面談を行っている ・日々の様子をサービス提供記録に書いている ・契約時に詳しく説明している	・職員同士がゆっくり話し合う時間が取れない。ケース会議などができたら嬉しい ・保護者会は行ったが、回数は少ない。交流の機会を持つことができなかった
	25	個別支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ている。	9			
	26	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	9			
	27	保護者会や行事を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設けている。	6	3		
	28	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	9			
	29	定期的に活動内容や行事予定、連絡体制等の情報を保護者に対して発信している。	9			
	30	個人情報の取扱いに十分留意している。	9			
	31	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	9			

チェック項目			はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	32	防犯対策、安全対策、感染症予防、非常災害時の対応方法についてマニュアルを策定し、職員や保護者等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	9		・個人の非常時用マニュアルを作成している ・定期的な避難経路の確認と連絡手段、AEDの使い方など職員全員で確認 ・てんかん、食物アレルギーのお子さんのことや対応について職員間で共有している。	・消防など外部研修の受講を受けたい。 ・非常時に保護者へ連絡する事が先か救急へ繋ぐ方が先か、各々の保護者と意思確認をしておく方が良い。 ・ヒヤリハットは事例集にまとめていないが、業務日報、職員会議で共有している。
	33	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っている。	9			
	34	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	9			
	35	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	9			
	36	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	8	1		
	37	子どもの安全確保に関して、保護者との連携が図られるよう、安全計画に基づく取り組み内容について、保護者等へ周知している。	9			
	38	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	6	3		
	39	虐待防止について職員研修を確保する等、適切な対応をしている。	7	2		

事業所内での分析	分析結果を踏まえた改善目標の設定
(保護者評価・事業所評価のずれ・共通点の分析) 【保護者評価・事業者評価のずれ】 大きなずれはない。 【共通点】 ペアトレ、関係機関との連携が少ない。	○改善目標 ・防災訓練、救急、感染症などの対応法について、研修では話し合いは持たれているが、実際は想定外のことが起きることもありうるので、外部研修などを受け、実践に即した対応を検討していきたい。